

## 平成25年度練馬区立貫井中学校経営方針

平成25年4月1日

校長 石原 正義

本校は今年度開校50周年を迎える。現在、生徒が礼儀正しくきちんと挨拶ができ、行事や生徒会活動、部活動等において主体的に活動できる落ち着いた学校であるのも、歴代の保護者や地域の方々、生徒や教職員の力によるところが大きい。今後もその良さをさらに伸ばし、21世紀を担う人材を輩出できるように、日頃の教育活動を充実させなければならない。そのような決意をもって学校経営方針を定める。

### ◎ めざす学校

#### 1 学校の教育目標

心身共に健康で、人間性豊かな生徒の育成をめざして、次の目標の達成に努める。

- よく考える人
- 思いやりのある人
- 実践する人

※校章の精神：自律、誠実、根気、健康

知・情・意の調和の備わった円満で完全な人格になることを念願して制定されている。

#### 2 めざす学校像

保護者や地域の期待に応え、生徒の個性や能力を伸ばし、国家や社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う学校をめざす。

##### (1) 自己教育力、生涯学習の基礎づくりのできる学校

生徒一人一人に基礎的な知識や技能の定着を図り、基本的な学ぶ態度を身につけ、言語活動の充実を通して、主体的に学習する生徒を育てる。

##### (2) 人間尊重の精神を基盤として、豊かな心を育むことができる学校

全ての生徒が人権尊重の理念を正しく理解し、思いやりの心を持ち、社会生活に必要な生活習慣や公德心を身に付ける。いじめや体罰のない学校を創る。

(3) 保護者の信託や地域・社会の信頼に応えられる学校

生徒のために、学校の教育機能を十分に発揮できるよう家庭や地域等の理解、協力を得ながら、開かれた学校を目指す。

(4) 生徒の自己実現への支援、協同体制のとれる学校

生徒一人一人の良さや可能性を見つけ、それが発揮できるように教職員の協同体制、組織体としての機能を充実する。

### 3 育てたい生徒像

豊かな人間性と創造性を備え、社会において自律的に生きる力を身に付けた生徒の育成をめざす。

- |                        |            |
|------------------------|------------|
| (1) 自主性、探求心、創造性のある生徒   | 「よく考える人」   |
| (2) 親切、協力、信頼、友情にあふれる生徒 | 「思いやりのある人」 |
| (3) 勤労、責任、自立性を重んずる生徒   | 「実践する人」    |

### 4 めざす教師像

(1) 教育公務員として、生徒の人格形成に大きな影響を与える職務に携わる者として、その使命と職責を深く自覚し、服務規律の厳正に努める。

(2) 生徒とのふれあいや声かけを重視し、生徒第一の考え方にに基づき、生徒が学校生活を通して自己実現できるよう指導、支援に努める。

(3) 常に生徒理解に努め、その実態把握を基に生徒指導、学習指導に創意工夫を生かし、生徒の興味・関心・意欲・態度を育てる指導と評価の工夫・改善に努める。基礎学力の向上、ティームティーチング、少人数授業、総合的な学習の時間の充実などを通して、個性の伸長、主体的態度の育成をめざす。

(4) 進んで研修に励み、専門職としての実力を磨くとともに、体罰に頼らない指導や豊かな人間性を身に付けるように努める。

### 5 経営方針のポイント

(1) 生徒の利益を第一に考える。

(2) 人権尊重の精神を基盤に、教師と生徒、生徒同士の信頼を大切にする。

(3) 基礎的・基本的内容を重視し、自ら学ぶ意欲を育てる。

(4) 教職員の団結・和を大切にし、運命共同体意識を育てる。

(5) 教職員の経営参画を積極的に取り入れ、組織の活性化を図る。

(6) 保護者や地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。

## ◎ 目標と方策

### 1 学習指導

- (1) 生徒一人一人が充実した学習ができるように、授業内容の改善に努め、思考力や判断力、表現力を育て、生涯を通じて学習する意欲と態度を身につけさせる授業を展開する。すべての教員は年に一度は研究授業を行う。
- (2) 生徒が主体的に学習活動に取り組むことができるように、学習習慣の確立や言語活動の充実を努め、ICT教育の充実、学校図書館の活用、教材教具の工夫ならびに学習活動の形態、指導体制や方法等を工夫し改善する。
- (3) 評価規準を明確にし、指導と評価の一体化を図り、肯定的な評価の工夫を行って生徒の学習意欲を高める。
- (4) 個に応じた指導の充実を図り、配慮を必要とする生徒にもその能力や可能性を最大限に伸ばすために、特別支援教育コーディネーターを中心に、教員の特別支援教育に関わる専門性を高め、適切な教育的支援を行う。

### 2 生活指導・進路指導

- (1) 人間尊重の精神を基調とし、言語環境を整え、道徳の授業をはじめとした全教育活動を通じて豊かな心の醸成を図り、人間性に富み、生命と人権を大切にし、健康や安全、防災について理解する生徒を育てる。
- (2) すべての生徒が生き生きと学校生活を送れるようにするため、教育相談の考え方を生かし、生徒一人一人の理解に努め、教員と生徒のふれあいを深め信頼関係に基づいた指導を行う。体罰は行わない。また、いじめを許さない毅然とした指導を行い、生徒会を中心とした啓発活動を推進しながら、いじめの早期発見に向けたアンケートを年3回実施する。
- (3) 教職員の共通理解と実践を基盤に、すべての教育活動を通じて、生徒に基本的な生活習慣と規範意識を定着させ、相互理解の基本となるコミュニケーション能力を育てる。
- (4) 共に生きるために、互いの人格と個性を尊重し、障害のある人等への理解を深め、差別や偏見をもたずに学校生活を送る意識と態度を育てる。
- (5) キャリア教育の視点に立ち、望ましい勤労観・職業観を育て、将来の生き方を考えて主体的に進路を選択できる能力を身に付けさせ、自立する態度を育てる。

### 3 特別活動、その他

- (1) どの生徒にも学校・学級の一員としての自覚と役割意識を高め、自主的、実践的な活動を通して、互いに協力して生活し、自己の責任を果たす態度を身に付けさせる。
- (2) 生徒の自主的・主体的な活動を重視し、学校行事、生徒会・委員会活動や部活動など生徒が活動する機会を十分に保障して、学校生活に対する充実感と自己有用感を高める教育活動を推進する。
- (3) 学校生活をはじめ、共に生きるために、地域や社会の様々な実態や課題に気づき、自ら考え、主体的に判断して積極的に課題を解決しようとする態度を養う。
- (4) 地域の環境や人材を生かした教育活動を推進するとともに、地域におけるボランティア活動への参加や勤労体験などにより、地域社会と共に生きることを体験的に学ばせる機会を設け、生徒と地域社会のかかわりを深める。

### 4 学校運営

- (1) 学校の教育課題に対して、互いの情報を共有して最善の方法を全員で十分に吟味し、各自が当事者意識を持って課題解決のための最大限の努力をする。
- (2) 教職員の関係性の高い組織を作り、互いの力量を高めるために、校内研修等の組織を整え、教員の学習指導等に関する専門性を高める。
- (3) 校内の事案決定規定や管理運営規則等を整備し、責任と権限を明確にし、目的や計画を定め、秩序だった組織的な対応ができるようにする。
- (4) サービスの厳正を徹底するとともに、成果は公正に評価する。
- (5) 学校公開や保護者会を積極的に行い、学校の教育活動を保護者・地域に対して公開するとともに、諸行事の開催、学校からの印刷物やホームページを通じて学校教育の成果を発信し、理解と協力が得られるようにする。
- (6) P T A活動や町内会組織等と積極的に関わり、保護者・地域とのつながりを深めるとともに、生徒・保護者・地域住民の意見や要望を学校評価などで学校経営に反映させるしくみを整えて、教育活動を推進する。

#### ◎ 教育活動(指導)の重点

##### 1 各教科

- ・基礎的・基本的な内容を身に付けさせる。
- ・言語活動を充実させ、自ら学び考える力を身に付けさせる。

- ・学習習慣を身に付け、学習意欲を高める。
- ・貫井図書館と連携し、司書教諭や学校図書館支援員を中心に、朝読書の実施や学校図書館を活用した読書活動を推進する。
- ・体力の向上、健康の保持増進を図る。

## 2 道徳

- ・自己を見つめて向上心を持って生活する習慣を身に付けさせる。
- ・思いやりや生命尊重などの豊かな心を育成し、道徳的実践力を高める。

## 3 特別活動

- ・集団の一員としての自覚を持ち、互いに協力して責任を果たす態度を身に付けさせる。
- ・自主的・実践的な活動を通して、自らを向上させる意欲や態度を育てる。

## 4 総合的な学習の時間

- ・自ら考え主体的に判断して課題を解決しようとする態度を育てる。
- ・学び方、考え方、表現力を身に付け、自己の生き方を考える能力を養う。

## 5 特色ある教育活動

- ・運動会や合唱コンクールなどの学校行事や生徒会活動において、生徒による主体的な運営を行わせる。
- ・地域等の人材を生かして、地域から学ぶ授業を実施する。また地域行事やボランティア活動への生徒や教職員の参加を進める。
- ・小中一貫教育の視点を持ち、近隣小学校と連携して交流し、教職員、児童生徒の相互理解を図り、生活指導や進路指導、教科指導に生かすことにより課題改善につなげる。

## 6 生活指導

- ・礼儀や言葉遣いなどの基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- ・生徒理解を深め、教師と生徒の信頼関係を築く。
- ・保護者や地域社会と連携を図り、規範意識を育てる。
- ・不登校やいじめの未然防止と早期発見、早期解決に努める。
- ・自他の生命を尊重し、健康や安全、防災教育の充実を図る。

## 7 進路指導

- ・ 職業調べ、職場体験を通して、望ましい勤労観、職業観を育てる。
- ・ 保護者や生徒との連携を密にした適切な進路指導を行う。